

瀋陽駐在員事務所

「記念中日邦交正常化 45 周年 日本電影回顧展」

9月22～28日、瀋陽日本総領事館主催「日中国交正常化45周年記念・日本映画回顧展」(表題)が開催され、回顧展では、北海道を舞台にした「君よ憤怒の河を渉れ」「幸せの黄色いハンカチ」「駅-STATION」の3作品が上映されました。

「君よ憤怒の河を渉れ」は、1976年高倉健/中野良子主演で公開されたサスペンスアクション映画です。本作は1979年に「追捕」というタイトルで、文化大革命後初の外国映画として中国でも公開されています。本作は中国でも人気を博し、観客動員数が8億人に達したとされています。中国の中



高年にとって「高倉健」は、最も有名な映画俳優のひとりであり、その映画の舞台となったのが「北海道日高」です。他の2作品も、網走、阿寒、新得、夕張、増毛、雄冬、札幌などが舞台となっていて、昔を懐かしむ中高年から今どきの若者まで幅広い層の人達に、北海道の魅力をアピールする絶好の機会となります。

回顧展と並行して、スポンサーブースでは、協力企業各社が日中友好を彩る様々な展示を行われ、当事務所では、日中双方の旅行会社の協力を得て、北海道観光PRブースを出展しました。今回の回顧展が、日中両国の観光交流発展の一助になればと願っています。

正司 毅

ウラジオストク駐在員事務所

「東方経済フォーラム開催」

9月6～7日、ウラジオストクの極東連邦大学キャンパスにおいて、第3回東方経済フォーラムが開催され、当行の堰八会長や北海道総合商事の天間社長が参加しました。

今年はプーチン大統領のほか、日本からは安倍首相や複数の関係閣僚が、さらには韓国の文在寅大統領やモンゴルのバトトルガ大統領も参加するなど、昨年が増えて華やかな開催となりました。

また、北海道からは高橋知事が昨年に引き続き出席し、東方経済フォーラムのプログラムの一つである日露ビジネスフォーラムにおいて、北海道のロシアにおける取組について紹介したほか、北海道に本社を置く伸和ホールディングスの佐々木代表取締役社長からはウラジオストクでの活動について取組を発表するなど、「北海道」の存在感を強く感じさせる内容となりました。



フォーラム期間中には、当行が立ち上げから関与している北海道総合商事が、堰八会長、高橋知事立会いの下、ヤクーツク市との間で防煙ごみ焼却炉導入に係る覚書を締結し、さらにロシア企業である「サユリ」社との間でヤクーツク市における通年型温室栽培施設の第二期工事実施に係る覚書を締結しました。

今回のフォーラムは、北海道の知名度を当地に広げる絶好の機会となったところであり、当事務所としても、この機運を実際のビジネスや人的交流に結び付けていけるようにしていきたいと考えています。

山崎 龍人

北陸銀行バンコク駐在員事務所

キャッシュカード不要で現金引き出し可能に

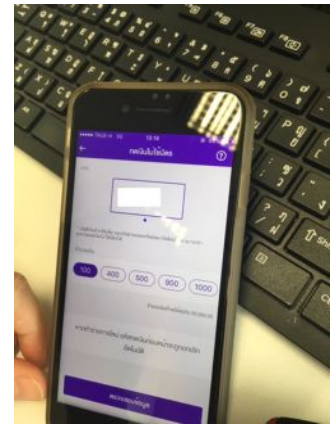
「しまった！財布を家に忘れたからお金を引き出しできない…。スマホだけで現金が引き出せたらいいのに…。」こんな思いをした事はありませんか？

実はタイでは昨今、一部の銀行で通帳やキャッシュカードが無くても、スマホだけで現金が引き出しできる様になりました。

同サービスを開始したのはタイ最大手の銀行の1つ、サイアム商業銀行。従来より同銀行はスマホアプリで振込や取引明細・残高の確認など出来ましたが、今回、スマホアプリの機能追加で同サービス「カードレスATM」が利用可能になりました。同サービスでの引き出し可能金額は、1回最大1000バーツ(約3000円)。アプリの画面を進めていき、引き出し希望額を入れると、6桁の秘密番号が表示されます。ATMでその秘密番号と登録済の携帯電話を入力すると、指定した金額を引き出すことができます。手数料はゼロ。

何とも便利なサービスが始まりましたが、背景にはキャッシュレス社会を目指すタイ政府と、それに応じるタイ大手銀行の競争があります。

今後も、タイでは便利な金融サービスが続々と登場する事が予想されます。



アプリで引出し金額を選択する画面
(残高や口座番号欄を一部加工しています)

吉田 雄司